

## 《ポスター発表 概要》

12 月 16 日(火)の 6・7 校時に 2 年生による学術研究Ⅱ「口頭発表会」があった。ゼミごとに分かれて、各班がこれまで行ってきた課題研究の内容をまとめ、発表を行った。1 年生も聴衆として質疑応答に参加し、双方にとって有意義な時間になった。



## 《各ゼミにおける発表の様子》

### 物理ゼミ

2 年生の多くには緊張が見られたが、研究してきた内容に対して理解を深め、しっかりと伝えられる発表になっていた。2 年生は度々質問をしており、有意義なものも多く、研究に対してしっかり理解を深められていると感じた。一方で 1 年生からの質問が少なかった。単に発表がわかりづらかった可能性もあるが、積極的に質問があると、発表会が活性化すると思った。

### 化学ゼミ

時間をオーバーした班も多かったが、発表内容は充実していた。最初は質問が少なかったが、発表が進むにつれて徐々に増えた。この 1 年間で質問の質以上に質問に対する回答の質が高まったと感じた。1 年生からも多くの質問が挙がり新たな視点から研究を捉えることができた。

### 生物ゼミ

時間いっぱい発表した班がほとんどだった。質問が 2 年生だけではなく 1 年生からも出て、発表者も分かりやすく噛み砕いて説明していた。ただ、早口での発表が多く、スライドを集中して見ていないと置いて行かれてしまうので、話す内容を厳選しゆっくり話したほうが多くの人が理解できるのではないかと思った。

### 地学ゼミ

中間発表時の課題であったスライドに関して改善されていて、聞いている人にわかりやすい発表だった。質問は 2 年生と 1 年生両方から出ていた。考察や結論を踏まえた上で研究テーマに対してどのような答えを出すかという質問が多く出ていた。

### 数学ゼミ

1 年生の人数が多く、緊張している 2 年生が多くいた。どの班も数学用語を分かりやすく説明し、1 年生の細かい質疑に丁寧に対応していた。質問はそこまで多くなかったが、質の高い質問だった。

### 情報ゼミ

研究内容を分かりやすく噛み砕き、できるだけ専門用語を使わずにわかりやすく説明しており、全体的に丁寧な発表会だった。質問者が少なく感じたが、発表の隙をつく鋭い質問もあり、非常に有意義な質疑応答だった。

### 国語ゼミ

時間を少し超過した班もあったが、ほとんどの 2 年生は要点を絞ってしっかりと内容を伝えていた。先生からも鋭い質問があったが、各班ともしっかりと答えていた。

### 地歴ゼミ

1年生、2年生とも発表を理解しようとしながら聴いている様子が見られた。以前よりも様々な視点から活発な質疑応答が行われた。先生方の講評では、視野の狭さから考察などの論理性に欠けていた点が指摘された。資料やデータの細かい箇所まで考察する必要があると感じた。

### 公民ゼミ

メモを取るなどしながら、集中して発表を聞いている人が多く見られた。全ての班が時間内に発表を終えることができていたが、全体的に早口になってしまっていた。質疑応答では、研究をより深く理解しようとする姿勢が見られた。

### 英語ゼミ

英語での発表に慣れ、発音も上達していた。質疑応答では、各々が自身の班の発表にきちんとした意見を持ち、返答していた。一方で、内容の浅さや仮説と結果のねじれ、英単語の使い方など、基礎的な点への指摘も見られたため、それらを今後の糧にしていくべきだと感じた。

### 保体ゼミ

真面目に発表を聞き、発表に対してリアクションを取ったりする様子が見られた。質疑応答では鋭く、本質を突く質問が多く見られ、それらの質問への対応力も向上していたが、1年生の質問の少なさは課題だと感じた。講評ではアンケートの集め方の工夫などが挙げられていた。

### 編集後記

それぞれの班の発表に工夫が凝らされており、今までの研究活動の集大成としてふさわしい発表であったと感じた。今回の口頭発表会を通して先生方からいただいた助言などを踏まえ、今後のまとめの活動に活かしていけたら良いと思う。

### 音楽ゼミ

緊張感があり、1年生もいるためより気が引き締まっている様子だった。終盤のグループになるにつれて質問が増えていて良い雰囲気だった。限られた発表時間の中、必要事項をまとめて発表できていた。講評では、発表で用いたグラフについて、さらに見やすいものにすることが可能ではないかといった指摘をいただいた。

### 家庭ゼミ

発表は時間通りにスムーズに進んでいて良いと思った反面、質問が以前よりも少なかったため、その点は改善すべきだと感じた。また講評では、発表や質疑応答の際にはもっと自信を持って話すの良いとアドバイスをいただいた。

### 災害研究ゼミ

緊張感があり、全員が発表に真剣に向き合っていた。発表を聞きながら疑問点等をまとめておく工夫をしている様子も見られ、一つ一つの情報をしっかりと抑えながら聴いていたと感じた。徐々に質疑応答が活発化し、鋭い質問に対しても今までの長い研究期間の成果を活かして応えることができていた。1年生も活発に手を挙げて発言しており、非常に良かった。

